



議会だより 第21号

平成23年2月発行

みやこ

謹んで初春の

お慶びを申し上げます

本年も皆様方にとりまして、幸多き年
となりますようお祈り申し上げ、ご挨拶
いたします。



はばたけ!! 222人の新成人

1月9日 成人式にて

もくじ

- * 決算審査 2 ~ 3P
- * 議案議決結果 4P
- * 町政を問う・一般質問 5 ~ 9P
- * 委員会報告 10 ~ 11P
- * がんばっちょーよ! 12P

111億1,592万円

決算歳入総額
122億507万514円
決算歳出総額
111億1,592万9,370円

決算認定

決算特別委員会を設置して、11月4・10・12日の3日間審査を行いました。12月本議会において採決の結果、すべて原案の通り認定しました。

特別会計を含めた決算総額は歳入183億6,248万円、歳出174億4,216万円となり、差し引き額9億2,032万円の黒字ですが、翌年度の繰り越し事業のための、財源確保の1億7,636万円を差し引いた実質収支は約7億4,400万円です。

町債現在高合計108億7,955万円、基金総額は69億円、21年度中増額7億4,875万円となっています。

教育費

小学校施設改修
1億9,819万円
中学校施設改修
7,462万円

耐震診断を行った。(22年度に、安全安心な学校づくりとして、耐震補強工事、照明器機改修、太陽光発電事業などを行う)

不納欠損額
28,794,001円

滞納繰越分のうち収入額は1億2,420万円。回収率は滞納総額の24%。差し押さえ件数は、20年度481件、21年度310件。



公売会の会場風景

こどもの医療費助成

乳幼児分 3,210万円
児童分 1,575万円

子育て支援として小学校終了までの医療費自己負担の無料化を実施。
(平成22年10月より、中学校卒業まで事業を拡大した)

定額給付金事業費
3億5,410万円

地域経済活性化対策として、1人当たり1万2千円～2万円給付。
前年度からの繰り越し事業。

財政の状況

年度	財政力指数	実質公債費比率	経常収支比率
平成18年度	0.363	13.3%	103.1%
平成19年度	0.390	13.2%	100.3%
平成20年度	0.418	12.8%	92.5%
平成21年度	0.419	9.8%	88.1%

財政力指数

町の財政力を示す指数で1に近くなるほど財政に余裕がある。

実質公債費比率

公債費(元利償還金)の一般財源に占める割合。25%を超えると危険領域といえる。

経常収支比率

経常的に収入がある財源に対する経常経費(人件費、物件費、扶助費、補助費等)の割合。75%～80%未達が妥当である。

公共施設整備・ 農業用施設整備

有害鳥獣加工施設整備 3,421万円

平成21年度 一般会計決算

消防施設整備事業

1億3,549万円

消防用、小型動力ポンプ付積載車等を各地区に配備25台

地域活性化生活対策臨時交付金を充てる。



各地区に配備された普通積載車

母子保健事業

1,480万円

妊婦健診の回数を14回まで増。健康診査の受診・実人数は130人(延人数は1,197人)ほかに乳児健診などの実施。

家庭用火災報知器整備

2,129万円

火災報知器を町内全戸に取り付けた。

水道事業

(9億6,474万円)

主な事業として

犀川久富、古川、本庄地区各地区
配水管敷設工事

3億1,011万円

中央地区(勝山)各工区
配水管敷設工事

2億8,054万円

観光施設管理費

豊津花菖蒲園改修

3,621万円

蛇淵キャンプ場改修

1,090万円



豊津花菖蒲公園

さらなる加入促進を!!

平成22年 みやこ町議会 会議結果

第7回 定例会(12月議会)			
議案名	議決結果		
		みやこ町水稲・麦・大豆等振興施設の指定管理者の指定(有限会社豊津町営農生産組合)	原案可決 (賛成15 反対0)
人権擁護委員の推薦(勝山 田中ミツヨ氏)	原案適任 (賛成16 反対0)	平成22年度みやこ町一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成13 反対2)
人権擁護委員の推薦(勝山 山下節生氏)	原案適任 (賛成16 反対0)	平成22年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成13 反対2)
不当要求行為等対策条例の制定	原案可決 (賛成15 反対0)	平成22年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (賛成13 反対2)
課設置条例の一部改正	原案可決 (賛成8 反対7)	平成22年度みやこ町城井財産区管理会特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成13 反対2)
児童育成手当支給条例の全部改正	原案可決 (賛成15 反対0)	TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に反対を求める意見書	原案可決 (賛成13 反対2)
町立児童館条例の廃止	原案可決 (賛成14 反対1)	「一人暮らしの寡婦」医療制度に関する意見書	原案可決 (賛成15 反対0)
保健・福祉・コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正(使用料の変更)	原案可決 (賛成14 反対1)	保育所民営化計画の見直しをもとめる請願書	継続審査
農業集落排水処理施設条例の一部改正(使用料の変更)	原案可決 (賛成14 反対1)	平成21年度一般会計他11特別会計の歳入歳出決算の認定	原案認定
共同井戸条例の一部改正(今里団地共同井戸の廃止)	原案可決 (賛成15 反対0)	第6回 臨時会(11月29日)	
		議案名	議決結果
財産の取得(伊良原ダム関連公共用地)	原案可決 (賛成15 反対0)	みやこ町職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決 (賛成13 反対3)

継続審査



請願審査(文教厚生常任委員会)の様子

見直し及び公立保育所の存続と充実を求めます。

よつて、私達は子ども達が健やかに育ち、町民が安心して働き続けられるために、民営化計画の見直し及び公立保育所の存続と充実を求めます。

公立保育所は経験の長いベテラン、中堅、若い保育士がバランス良く配置され、質の高い保育が継承されています。民営化は、もはや保育所の問題だけにとどまらず、地域全体の問題です。町が二番に守らなければならない福祉、弱者の切り捨てを私達はだまされて受け入れるわけにはいきません。

子ども幸せを第一に考えてください
町が提示している民営化計画は、あまりにも性急で不明瞭な点が多く、子どもや保護者に与えるダメージが大きいことは必至です。

保育所民営化計画の見直しをもとめる請願書

町政を問う!!

一般質問

町のお金をどこに使うか ということが大切



直 野 義 員
柿 野 議

この1カ月、町のほぼ全域にアンケートをお届けして、地域を回った。みなさんのお話や回答から失業の厳しい状況が伝わってくる。

全国の失業率は5.0%だが、15歳から24歳で9.1%、25歳から34歳で6.2%、60歳から64歳で7.5%。非正規雇用は全雇用の3分の1を超えている。

この地域でも子育て世代や高齢

者に厳しい生活の実態があるので
はと思っている。

いま、こうした人たちを支援する
町づくりが求められている。

失業者や生活困窮者へ 年末年始の緊急支援策を

Q 町の失業者や生活困窮者の
実態は。

A ハローワークの求職者は約140名。生活保護世帯は約390世帯。依然として厳しい状況が続いている。

Q 仕事を求める人たちの状況に配慮して、町独自の緊急の雇用対策事業を求める。

A 町内企業に、地元雇用について、より一層の協力を求めている。

Q 失業者がいろんな相談ができる窓口をつくってもらいたい。

A 現在、生活困窮者に対しては社会福祉協議会において年間を通して生活支援事業をしている。

町としても窓口設置については検討していきたい。



年末に設置した相談窓口

保育所の民営化計画の見直しを求める

Q 保護者から民営化計画の見直しを求める請願(署名2,600名)が出ている。どう受けとめるのか。

公設の良さも生かした保育行政を求める。

A 保護者説明会や町の民営化検討委員会から説明不足という指摘があった。

請願は重く受けとめているが、子育て支援の見直しが急務であるということも念頭に置いた施策をしなければならぬ。

多くの方々の意見を伺いながら、次の3月議会に提案したい。

町の非正規職員の待遇改善を

Q 正規と非正規の賃金格差を資料に基づいて説明を。

非正規の待遇改善を求める。

A 資料は出せない。
賃金及び労働条件については、

本人が納得している。賃金の改定は考えていない。

Q 人事院勧告で職員給与2,000万円以上の引き下げがあった。

このお金を格差是正のために出しているのか。

A 年末一時金の増額をこのことだが、現段階では考えていない。

障がい者を支える姿勢を

Q 移動支援タクシー券の支給枚数を増やしてほしい。また、条件緩和を。

A 人工透析で週数回の通院をしなければならぬ方や、一定の要件に該当する高齢者の方の移動支援として活用できるように、

条件緩和の方向で検討している。
Q 学童クラブに障がい児の受け入れを。無い地域に設置を。

A 勝山地区では5年生、犀川地区では4年生の障がい児を受け入れている。豊津地区には無い。

一般質問

地域住民の声を尊重せよ



馬 勝 員
田 中 議

伊良原小中学校を 統合し一貫校に

Q 小中一貫校の目的は、「児童生徒の知(知識)徳(道徳)体(健康)」の健全教育と学力向上を図るきめ細かな教育環境づくりだと思う。

伊良原の学校には町外からの生徒も増えている。

小規模校の特徴を生かして、困っている児童生徒に教育のできる学校として重要と考

える。

A ダム建設に伴い地域住民と締結した「基本構想・基本協定」教育施設の移転再建の約束を守れ。

A 昨年12月の伊良原小中学校統廃合検討委員会からの答申及び地域の強い要望により、学校を残すために小中一貫校の建設を考えている。

現在、その構想計画を策定中であり、この計画書を国土交通省及び文部科学省に要望し

ている。

町としても学校を残すために最大限の努力をしてまいりたい。

伊良原地区に 小規模住宅を構築し 定住促進を

Q 他の自治体では、児童生徒の減少歯止め策として、校区内に小規模住宅を構築し、独自の定住促進補助金要綱を作るなどして、存続している学校もある。

当町の少子化対策についての考えを問う。

A 若い世代の人が住みたくなる小規模住宅建設については、他の地区も含めてみやこ町の少子化対策として検討する。

小中学校の学力向上対策

Q 学力低下問題が大きく取り沙汰されている。

国語では、読解力の改善が

謳われ、言語事項の「読むこと・書くこと」や算数では、図形・数量計算・数と式等が全国平均を下回っている。

町としてどの様な対策を取っているか。

A 厳しい経済情勢の中で塾に行けない子供たちに対し、学力を向上するためにどうすれば良いかということで、役場の若い職員や学校の先生のOB等に勉強をみてもらえないかなど考えている。

国府の郷に 個性ある 総合観光案内所を

Q 国府の郷は年間100万人以上の来客がある。

直売所と観光案内所、特産品加工所、食事が一体となり、お客様のニーズに対応し、相乗効果が得



豊津物産直売所(国府の郷)

られる施設として整備してはどうか。

A そういった複合施設があれば、観光産業、食文化などの総合的な情報発信施設になり、町の活性化につながるものと確信している。

将来、具体的な事業として計画していきたい。

県営伊良原ダムの検証を



光吉さわ子
議員

Q ダムは国の検証に上げられ、福岡県事業とはいえ、水源地をもつみやこ町としては、今後の対応は重要な施策と考える。

建設計画から40年以上を経過し、完成予定が10年引き延ばされ、総事業費は678億円となっている。ダム工事の進捗率は43%。
責任水量は3,070トであるが、22年度現在の水需要と利水人口、加入戸数、将来的な予測、その算定根拠を明らかにせよ。

A 合併前の京築水道企業

団(2市5町)の合意により決められ、水道企業団議会で決定された水量をみやこ町が引き継いだもの。

その時々々の受水量に応じて受水料金を払わなければならぬ。水道事業に理解を深めていただき加入促進の取り組みが必要。

現在、町の人口は、2万2,271人で、給水計画は1万3,740人。現在の給水は6,016人。加入戸数は2,338戸。

Q 責任水量3,070トの根拠は何か。

A 一人当たり250リットルを3人世帯で使い、戸数は5,325戸で計画している。

Q 今後、人口減、過疎化と水事情が変わってくる。

自己水源を利用すれば水道水の需要は減るのではないか。

なお、ダム建設のいかに関係なく、祓川水系の改善、解決を図るべき。計画はあるか。

今、ダム事業を環境問題、ふるさとの良さからも見直す時期と思うが町長の考えは。

A ダムは早期につくるべきと思う。推進するということ。



12月19日に行われた伊良原ダム建設事業検証に係る関係住民説明会

タクシー利用券と高齢者配食サービスの拡充を

Q タクシー利用予算が17万円あまっている。月3枚1,860円では行橋までの

往復もできない。検討を。また、車に乗れない、買物に行けない老夫婦が多くなっている。一人暮らしの家庭の給食を全町的に実施してはと考える。
デイケアの配食についても広げていただきたい。

A 現在、一食当たり400円の本人負担で一週間5回食を配膳しており、今後一人暮らし等の高齢者世帯の把握に努める。

福祉タクシー利用券
金 620円券

利用者番号	
利用年月日	年 月 日
利用者氏名	
運行場所及び距離	～ km
この券の有効期限	平成 23年 3月 31日
運行会社名	
利用号車	運転者氏名
<input checked="" type="checkbox"/> この券は1回限り利用できます。 <input checked="" type="checkbox"/> この券は売買できません。 <input checked="" type="checkbox"/> この券は本人以外使用できません。 <input checked="" type="checkbox"/> この券は京築タクシー協会に加入しているタクシーのみ利用できます。	

みやこ町長 井上 幸春

福祉タクシー利用券

一般質問

予防接種の公費助成実施で 医療費の軽減策を



熊谷みえ子
議員

Q 厚生労働省は、子宮頸がん、細菌性髄膜炎（ヒブ、肺炎球菌）のワクチンの予防接種事業の助成制度を市町村に対して開始した。公費負担での定期接種への取り組みを求める。

A 23年度より実施する。

任意接種で自己負担なしで接種を行う予定。

子宮頸がんワクチン接種対象者は中学生及び高校1年生計414人。3回接種。

小児用肺炎球菌ワクチン接種

対象者はゼロ歳児〜4歳児の計662人。



子どもを安心して育てられる

公的保育制度の拡充を

Q 保育所民営化について、子どもの発達する権利、児童福祉充実

をさせる立場で臨む事をもとめる。

保護者など当事者の知らないところで決められてしまうことへの疑問や怒り、十分な検討のないまま財政難を理由にする保育所民営化計画についての不安は大きい。

せめて、いったん公立保育所民営化計画の取り下げを。

小さな子どもを抱え、仕事をしながら、限られた時間での、取り組みで請願書の提出まで運動を広げてきた保護者の思いをくみ取っていただきたい。

A 1億円削減ありきで話したところは軽率だったかなと思ってるけれども、保護者の負担金が減れば納得していただけるのでは。

議会とみんなで考えていくことをお願いしたい。

放課後児童支援事業を

Q 全学年を対象にした子どもの遊びの広場の確保を。



久保保育所

A 地域の協力や見守りの指導員などの確保などの問題がある。

安心して暮らせる町にするためにも、将来的には真剣に取り組まなければならぬ。

地域活性化対策として、
住宅リフォーム助成制度
創設を求める

Q 地域経済の振興など地元業者の仕事確保につながる住宅リフォーム助成制度の取り組みを求める。

経済波及効果は10倍以上と試算されている自治体もある。

A 町内全域の空き家調査をした。

少子化対策や移住促進などの空き家対策の事業を進めていきたい。

将来の定住促進、人口増加策として、住宅リフォーム助成制度を活用するとすれば、何らかの補助を検討したい。

日米共同総合演習の
中止を求める

Q 郷土の平和を守る立場での対応を望む。

緊迫した中での最大規模の演習であり、騒音、危険性を伴う訓練はたえがたい。いっそう危険な状況であり、今後も抗議の姿勢での取り組みを求める。

A 住民生活・平和を守る立場から、基地問題に関し、さらなる情報収集に努め、周辺整備の充実など、引き続き国に要望していきたい。

負担金・補助金・交付金の

精査を求める



原田さやか
議員

Q 負担金・補助金等は慣例化し、漫然とした支出となつてはいないか。慣例にとらわれず、必要性、妥当性について精査する必要がある。

交付に際しては、交付先の公平性、対象経費の明確化が求められる。使途については透明性の確保と説明責任が伴う。

そういう視点で精査していただきたい。

A 来年度の予算で、補助金、助成金は、予算編成方針の中で団体の収支状況、決算書等を勘案し、事前に団体と

の協議を十分行い、調整後予算計上することを各担当課に周知した。

負担金等も、全課長に対し、精査することを今一度確認の意味で周知徹底を図った。

負担金、補助金等は、建設事業費関係の負担金や補助金を除けば、経常経費となるので、財政の健全化を図るためにも、スクラップアンドビルドの方針で精査するとともに無駄をなくし、平成23年度の予算編成を行いたい。

各種委員会発足時には 広報紙での掲載を求める

Q 各担当課が各種委員会を発足させたとき、目的、構成メンバー等を広報紙で報せて頂きたい。

町がどういうことを取り組もうとしているのか住民が知ることができる機会となる。委員に就任をした方に、その目的に沿った意見が寄せられる。そういう利点がある。

A 住民参加の町政への推進になるのではないか。予算もかからない。

行政施策を進める上で、行政の意思決定過程の公正を確保し、透明性の向上を図ることや住民の多様な意見、情報を把握するとともに、それらを考慮して意思決定を行うことは大切である。

住民の意見を考慮しながら、最終決定を行うためにも、まず、入り口として広報

紙への掲載について、実施すべく進めてまいりたい。

旧町舎の 有効活用を求める

Q 旧豊津町、犀川町の庁舎の未使用の部屋を有効活用できないか。

その方策を検討していただきたい。

A 支所の空き部屋の有効利用は、行政財産として地方自治法により、使途が制限されているが、活用方法はないのか、検討を続けている。

庁舎として、機密性を守らなければならないこともあり、休日時間外に職員以外の方が自由に出入りすることになれば、その施設の管理を強化しなければならない。

十分協議を要する事項と考えている。

Q まず、部屋の整理、備品の整理から着手していただきたい。

A 必要としない備品は、来年早々にも計画的に処分を実施していきたい。



現在使われていない豊津支所の議場



犀川支所に保管されている備品

委員会活動報告

総務常任委員会

大分県の豊後高田市及び姫島村で視察研修
(11月15日～16日)

委員会では、ユニークで画期的な取り組みを行なっている先進地の視察研修を行ないました。

豊後高田市は「昭和の町」で有名ですが、他にも特筆すべき事として「そば」の生産に力を入れ、その栽培面積は「春そば」が日本一、「秋そば」が西日本で3番目という事です。そのため、町では多くのそば屋さんが見られました。

姫島村では、漁業、観光の活性化は勿論、村民の便宜性をはかるために町単独でケーブルテレビ事業に取り組み、インターネットサービスまでも行なっていました。

また、早くから空き缶デポジット制度を取り入れ、その効果の表れか町中には捨てられた空き缶は一つも見られず大変驚き感動しました。



シールを貼ったデポジット缶

産業建設常任委員会

武雄市のイノシシ肉の加工処理及び佐賀市の九州電力生物資源研究センターで視察研修
(10月20日～21日)

初日は、佐賀県の武雄市の「いのしし課」を訪ね、イノシシ肉の特産化への取り組みを研修しました。

平成21年度からイノシシ加工処理施設が稼働しており、1日4頭程度、年間300頭を目標としているそうです。



九州電力生物資源研究センターにて

施設は鳥獣加工処理組合が運営し、特産化に向けての販路開拓やイベント、地元PRなどは市が全面的に取り組んでいます。また、樋渡市長自らレモンガラスの特産化の経緯についてを話していただきました。なお、市長はいつも武雄から情報を発信するため全国を飛び回っているそうです。二日目は、佐賀市にある九州電力の生物資源研究センターを訪ね、水耕栽培による野菜工場の研究施設などを視察しました。

文教厚生常任委員会

学校給食センター及び小中一貫校を視察研修
(10月25日～26日)

委員会では、みやこ町で懸案となっている学校給食センター(平成24年度開設予定)及び小・中一貫校の先進地視察研修を行いました。

初日の大分県竹田市の学校給食センターでは、最新の厨房機器等を導入し、小中学校12校・幼稚園2園・県立支援学校1校への安心・安全な給食づくりをしていました。

二日目の小国町の小中一貫校については、小・中学校を9年生とし4・3・2年制を採用して、中1ギャップ等の解消に取り組みとともに、小学校3年生から中学校9年生までに「英会話科」を新設し、英語検定や漢字検定にも力を入れていました。



竹田中央学校給食共同調理場の合併浄化槽にて

広報特別委員会

佐賀県上峰町との研修交流及び福岡県町村議会広報研修会参加
(11月18日～19日)

「親しみやすく読みやすい広報紙『議会だより』」を作るために、今年度も委員全員で研修を行いました。初日は佐賀県の上峰町議会へ、二日目は福岡県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。

上峰町では「議員全員の議案に対する賛否表」等を掲載するなど、議会の内容をありのまま町民に伝えています。こういった編集方法は我が町でも取り入れたいと思っています。福岡での広報研修会では、講師がいつもの官公庁関係と違い、民間である熊本「日日新聞」の方で、内容も斬新であり幅広い観点からの指導をいただきました。大変勉強になりました。

今回の研修で学んだ事を生かし、より良い広報紙を作っていくと強く感じました。



福岡県町村議会広報研修会風景

みやこ町議会

中央要望行動

(11月24日～25日)



自見内閣府特命担当大臣に要望書を提出

ダム問題と基地をかかえる町の議会として、伊良原ダムの早期完成要求及び基地周辺対策事業の充実と整備を図り地域住民の快適な環境づくりを推進することを目的に、国土交通省・防衛省並びに地元選出の国会議員に対して、要望書を提出しました。

当日は、国会の開会中ではありませんでしたが、郵政・金融担当の自見大臣や防衛省の安住副大臣をはじめ地元選出の代議士と面会することができ、直接地元の要望を訴えてきました。

また、国土交通省では、治水課長と懇談しながら実情を訴え、大臣あてに要望書を提出しました。

4月24日は、みやこ町議会議員選挙投票日です。

ルールを守って明るい選挙

贈らない! 求めない! 受け取らない!

<p>お歳暮やお年賀</p>	<p>入学祝・卒業祝</p>	<p>病気見舞い</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の結婚祝</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典</p>
<p>葬式の花輪・共花</p>	<p>落成式・開店祝の花輪</p>	<p>町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入</p>	<p>お祭りへの寄付や差入</p>	<p>地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入</p>

がんばっちょーよ!!

**NPO法人
新聞環境システム研究所
(豊津)**

**新聞紙を回収・再利用して
地域の活性化**

新聞環境システム研究所の
みやこ町登録会員(400名)は、
新聞紙を豊津中央図書館駐車場の集荷場に持ち込んでいます。
(毎月第1、3土曜日の午前10時~12時)



新聞紙の集荷の様子

新聞紙1kg ≡ 1ペパとして自分の資源口座に積み立てられ、30ペパで地域通貨ペパ紙幣1枚(80円分)を引き出すことができます。

このペパ紙

幣は、公共交通機関の太陽交通のバスやタクシー、平成筑豊鉄道、豊津物産直売所(国府の郷)で割引券として使えます。

会員は、集荷場に新聞を持ち込むだけでリサイクル活動に貢献し、そのうえ地域通貨ペパを利用することができます。非常に喜んでいきます。

このシステムは、みやこ町の資源ごみの処理費用の削減になり、公共交通の活性化や国府の郷での買い物の販売促進にもつながると考えています。



地域通貨ペパ紙幣

また、新聞を利用した独自のグッズとして、ペパバッグと呼ぶ手作りのエコバッグ、新聞紙を軸としたペパ鉛筆、ペパエプロンなどが作られています。福祉障害、更生施設で製作したものは販売され、入所者の方たちの収入源の1つにもなっています。



ペパバッグ

現在も当研究所では会員を募集していますので、是非ご加入ください。

連絡先
豊津487-1
理事長 川上 義光
☎333-2277

議会傍聴においで下さい。
※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。
3月の定例会は、日程が決まり次第、ホームページ・防災無線等でお知らせします。

発行日：平成23年2月1日
発行：みやこ町議会
〒824-0892
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地
TEL0930-32-2511 (内線 301・302)
FAX0930-32-4563
編集：議会広報特別委員会
印刷：(株)日報

議会広報特別委員会
委員長 武勝馬 光雄
副委員長 大田中 英寿
委員 中田 義巳
委員 村東 義巳
委員 熊谷 みえ子
発行責任者 肥喜里 和隆

編集後記
新年、明けましておめでとうございます。
昨年を振り返ると、今この日本は、政権交代により外交問題をはじめ経済低迷等々の問題を抱え非常に混迷した状況下にありました。
しかし、スポーツでは大相撲の魁皇関が史上2人目となる通算1000勝を達成、またソフトバンクは7年ぶりのパリーグ制覇、高校野球では沖縄の興南が春夏制覇すると言う明るい話題もありました。
必ず努力は「実る」と確信しています。

議会だよりは、皆様方に少しでも町政を分かりやすく発信できるように努力してまいりますので、これからも愛読よろしくお願ひ申し上げます。
(田中)

